

第28回 地域の声委員会の概要について

平成25年7月25日に開催した地域の声委員会では、平成25年度第1四半期に皆さまからいただいた声について、しっかりと分析するとともに、今後の発電所の運営に反映できるよう検討しました。

皆さまからいただいた声を真摯に受け止め、発電所の安全対策を着実に進めるとともに、迅速かつ正確な情報公開について努めてまいります。



地域とともに

東京電力

柏崎刈羽原子力発電所

地域の皆さまから、701件の“声”をいただきました

(平成25年度第1四半期)

発電所に直接電話をいただいた声、当社社員による地域訪問活動の際にいただいた声、PR施設等をご見学時にいただいた声、発電所広報誌「ニュースアトム」に添付のハガキによる声など、多くのご意見・ご要望をいただきました。

【いただいた主な声】

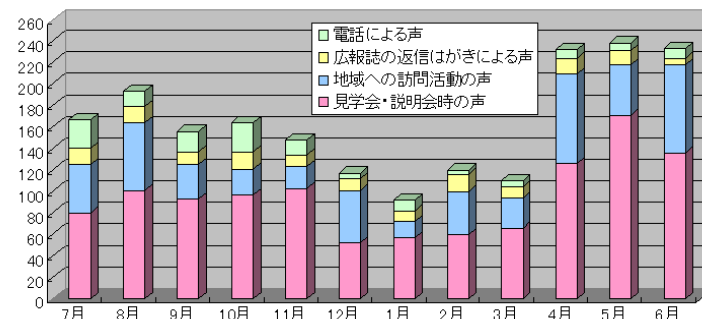
- ・ 色々な安全対策が、実際に実行され、効果を上げ、そのことが地域に伝わることが大事。
- ・ 去年は防潮堤の工事はじまりを見たが、今回は完成を見学することが出来て、良かった。映像では見ていたが、実際に見てためになった。
- ・ 去年も電気は余っていたのに、何故再稼働しようとするのか。再稼働の必要はない。
- ・ 報道されている情報だけでなく、自分でも勉強しようとPR施設に立ち寄った。安全対策が、ニュースでは大きく取り上げられていないのは残念。
- ・ 少しでも危険があれば廃炉が当然。柏崎で何か起きた時、福島事故の収束もできない東電に責任がとれるはずがない。
- ・ 原子力の問題は、感情論でなく、資源のない日本として冷静に議論すべき問題。
- ・ 使用済燃料を再処理したゴミはどこに行くのか決まっていない。最後まで責任をもつべき。
- ・ エネルギーは必要不可欠のもので、原子力は必要だと思うが、今後の見通しが立たないために、みんなが不安になると思う。廃棄物や汚染水なども溜まっていく一方ですし、課題が山積みである。

【今後の活動方針】

いただいた声をもとに、引き続き下記の点に取り組んでまいります。

- 真摯な「広聴」を実施してまいります。
- 丁寧な訪問活動を実施してまいります。
- サービスホールにおける説明会や見学会を継続して開催してまいります。
- 当社の取り組みを理解していただくための活動に取り組めます。
- 地域の声を収集し、地域の方々の不安解消に取り組んでまいります。
- 皆さまからいただいた声は、引き続き所長以下発電所内と本店で共有し発電所運営に活かしてまいります。

平成25年度にいただいた声の件数



今後も皆さまからいただいた声をしっかりと発電所運営に反映してまいります。